

## 法隆寺幼稚園「防災教室」開催報告

- 1 日 時：平成 24 年 9 月 14 日（金） 10：15～11：00
- 2 場 所：奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺 法隆寺幼稚園
- 3 講 師：NPO 法人さくらネット 河田のどか  
児童福祉ボランティア「どれみ」木村彰宏（帝塚山大学 4 年生）  
（陪席）NPO 法人都市災害に備える技術者の会 伊藤東洋雄
- 4 対象者：法隆寺幼稚園園児 約 340 名  
園長（1 人） 副園長（1 人）担任（19 人）
- 5 演目：（1）手遊び：ぐらぐらじしん  
（2）地震の写真を見てみよう！ 津波の写真を見てみよう！  
（3）紙芝居：『3びきのこぶたの「ぼうさい」』  
（4）クイズ：○×クイズ 6 問を実施
- 6 内容：（1）手遊び：「山小屋いっけん」の替え歌  
①目的：地震の際に頭を守る、だんご虫のポーズを体験し覚える  
②歌：こぶたが 一匹 おりました  
あるとき お家が 揺れました  
ぐらぐら ぐらぐら 地震だよ  
さあ、どうしよう？  
たすけて たすけて 地震だよ  
大丈夫だよ、落ち着いて！  
1、2、3、で変身だ！  
みんなでダンゴ虫  
（2）地震の写真を見てみよう！ 津波の写真を見てみよう！  
①内容：阪神淡路大震災の家屋倒壊の写真、東日本大震災の津波到来  
の写真を見せ、災害や地震・津波の被害の様子などの説明を行った  
（3）紙芝居  
①紙芝居の目的：地震の際に自分の身を守る方法を学ぶ  
②地震時に伝えたい 3 つの約束  
・日常の整理整頓・あわてない・頭を守る  
③あらすじ：仲良しの 3 匹の子ぶたの兄弟は、ぐらぐら丘に引っ越すこ  
とにしました。しかし、ぐらぐら丘は“地震が起きるかもしれない”  
とされています。お母さんブタは、3 匹に地震が起きたときのため  
の「備え」の 3 つの約束を教えてくださいました。3 匹が引っ越したある  
日、大きな地震がおき、3 つの約束を守っていなかったぶーやんとぶ  
ー子はケガをしてしまいました。しかし、しっかり約束を守っていた  
ぶー防は無事でした。3 匹はこれからは備えの 3 つの約束をしっかり  
守ることを約束し、その後も仲良くしあわせに暮らしました。  
（4）クイズ：紙芝居終了後、園児に紙芝居のふりかえりも踏まえたクイズ  
を出し、○×で答えてもらう

1. 地震のとき、ケガをしなかったのは「ぶーやん」である。 → ×  
(ケガをしなかったのは、しっかりもののぶーぼうだよ♪)
2. 「備え」は、地震から自分の身を守るために大切である。 → ○  
(地震に備えておこうね！)
3. 地震はいつ起きるかわからない。 → ○  
(地震はいつ起きるかわからないよ！)
4. お母さんブタが教えてくれたのは、「5つ」の約束である。 → ×  
(お母さんブタが教えてくれたのは、「3つ」の約束だよ！  
「3つ」の約束は何だったかな♪)  
→①いつも部屋を綺麗にお片づけしておく事。  
②地震が起きても、決してあわてないこと。  
③地震が起きたら、安全な場所に避難して  
【だんご虫のポーズ】で頭をまもること。
5. 日頃から地震に備えておくことは大切である。 → ○  
(地震が起きる前にしっかり備えをしておこうね♪)
6. 地震のときに頭を守るポーズは「だんご虫のポーズ」である。 → ×  
(地震が起きたときはだんご虫のポーズで頭を守ろう♪)

7 防災教室実施状況：



防災教室がはじまるよ！



上田副園長先生の挨拶



手遊びの始まりー



紙芝居がはじまるよ



真剣に紙芝居に見入る園児達



クイズの答え ○



だんご虫のポーズ



紙芝居が終わって退席する園児達

## 8 感想

3歳から5歳の幼稚園児340人に地震について分かりやすくお話ができるか、また、集中力を切らせてザワザワしないかなどと心配したが、日頃の訓練の成果か皆さん真剣にお話に聞き入ってくれた。

また、内容についても理解できたようで、最後のクイズの時間でほとんどの園児は正解であった。

はじめの上田副園長先生のお願いにもあったように、家に帰ってお父さんやお母さんにお話ししていただけることを願うし、また「三つ子の魂百まで」の例えの通り、いくらかでも頭の片隅にとどめてもらえることを願いたい。 (伊藤 記)

## 感想

“だんご虫のポーズ”は年少～年長まで年齢を問わずに楽しめるツールであることを実感した。紙芝居は、少し内容が難しかった様子で、クイズの答えに迷っているように見えたが、「地震の時に頭を守る」というポイントは、しっかり理解してくれたように思った。防災教室で取り組んだことを家に持ち帰り、家族の方が防災について考える1つのきっかけになることを期待したい。また、幼稚園で手軽に取り込める防災ツールを開発し、今後の防災教育の広がりも期待したい。(河田 記)